

協働パイロット事業 (H25) 企画提案書

団体名：特定非営利活動法人だっことおんぶの研究所

1. 事業の名称

我が子は自分で守る！地震防災セミナー

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

懸念される東海地震をシミュレーションした静岡県の第4次被害想定が間もなく発表される。今回は南海トラフ巨大地震や富士山噴火を想定に加えられる予定で、静岡市においてもその被害規模は大きなものになると考えられる。このような背景をふまえ、災害時要援護者である「乳幼児」への対策は早急になされるべきではあるが、静岡市に限らずどの行政機関もおむつやミルクのわずかな備蓄品以外の対策は成されていないのが現状である。一方で先の東日本大震災や阪神淡路大震災においては乳幼児のいる家庭は災害時やその後、居場所がない、物資が不足している等様々な困難を強いられている。このような背景を踏まえ、乳幼児を抱える家庭に「自助」の観点での防災意識を高めてもらおうと弊NPOでは防災セミナーを各地で開催してきたが、震災から時間が経過するにつれてその参加数は減少している。いつくるか分からない、しかし確実にくる巨大地震に備え、今すぐに行える対策は市民が「自助」の意識を持ち出来る限りの備えをしておくことである。また、自主防災組織を形成する住民に「乳幼児」に対して必要な防災の視点を広く地域に周知することは、発災後の避難所運営等に対するその観点や情報の活用を期待できる。

市と協働で実施する事により、広く多くの人にセミナーの実施を知らせることができ、その必要性を訴えることが可能になる。また、本企画は「子ども未来課」と「防災対策課」の両課との連携を見込んでいる。平素「乳幼児」に対する情報を所有している「こども未来課」と、災害に対する具体的な対策を考える「防災対策課」と直接市民ニーズを拾いあげ必要な情報を提供できる弊NPOが、このような企画を通して平常時より情報共有しておくことは、発災時に必須となるネットワークを構築するための第一歩となることは間違いないと考えている。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

子育て世代および自主防災組織への本企画の実施情報の周知、弊NPOが実施している防災セミナーに静岡市ならではの防災対策の視点を組み入れるためのアドバイス、市関連施設等の会場手配

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- ・乳幼児世帯の「自助」の意識の向上
- ・地域への乳幼児防災対策の啓発
- ・乳幼児世帯の地域コミュニティへの参画促進
- ・平常時からの地震災害への備えの必要性周知

5. 事業計画

【実施内容】

乳幼児のいる世帯及び地域に有用な地震災害対策の防災セミナー及びフォローアップセミナー

・ 防災セミナー

講師：防災ファシリテーターあんどうりす氏とだっことおんぶの研究所所属ふじのくに防災士
アウトドアの知恵を生かした防災対策、身近なものを代用して災害時に役立てる方法の伝授、乳幼児づれでの避難の具体的方法の周知

・ フォローアップセミナー

講師：だっことおんぶの研究所所属ふじのくに防災士
乳幼児、高齢者の避難に使えるさらしを使っただっこやおんぶの実践
災害後のこころのケアを含めた平常時からの関係作りの啓発

【対象】乳幼児のいる家庭と地域住民

【実施日】10月～12月

【時間】防災セミナー：2時間 フォローアップセミナー：1時間半

【実施回数】2カ所（葵区、駿河区）それぞれ防災セミナーと3カ所（葵区、駿河区、清水区）フォローアップセミナー

【定員】防災セミナー：各回50組 フォローアップセミナー：各回20組

【一時預かり】防災セミナーのみ各会場15組

【会場】城東保健福祉センター、きてこ、マリナート等

6. スケジュール

6月～7月 内容検討、委託契約

8月 会場手配、広報準備

9月～ 広報開始、申込受付

10月 防災セミナー実施（2会場）

11月～12月 フォローアップセミナー実施（3会場）

1月 報告書作成

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

【運営スタッフ及び経歴】

- ・京井麻由

だっことおんぶの研究所事務局担当、ふじのくに防災士

北極しろくま堂有限会社勤務、平成 25 年度静岡県健康福祉審議会児童福祉専門分科会審議員

- ・山田智子

だっことおんぶの研究所ベビーウェアリングコンシェルジュ、誕生学アドバイザー

元静岡銀行社員

【講師経歴】

- ・ あんどうりす

防災ファシリテーター、ノーバディーズパーフェクト認定ファシリテーター、

野外救急法 WMA・Wilderness First Responder 全国各地にて子育て家庭向けの防災講座実施

- ・ 園田正世

だっことおんぶの研究所理事、ふじのくに防災士

北極しろくま堂代表取締役

- ・ 京井麻由

同上

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

弊 NPO は 2010 年から乳幼児対象の防災セミナーを全国各地で実施。これまでの参加者は 3000 組超。乳幼児対象の日常からの実践的な備えを訴える内容は好評で、行政関係機関、企業、保育園幼稚園等から依頼をうけている。2012 年より現在に至るまで東京臨海広域防災公園そなエリアにてあんどう氏とともに年 6 回の防災講座の講師を担当。

東日本大震災後から、新聞各社、雑誌等へも掲載多数。

これらの実績とノウハウを、巨大地震での影響が懸念される地元静岡市で活かしていくことは急務だと考え、今回応募しました。県内各地での防災セミナー実施の際、子育て支援関係課と、防災関係課を訪問することが多いのですが、両課が連携をしている自治体はないというのが現状です。しかし、いざ発災したときに、この両課と弊 NPO のような子育て支援団体が平常時から連携をとっておくことはより効率よく発災後の混乱を乗り切れると確信しています。そういった意味でも今回の企画が全国でも類をみない取り組みとなることは確実です。

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名：特定非営利活動法人だっことおんぶの研究所

企画のタイトル：我が子は自分で守る！地震防災セミナー

項目	金額	説明
講師料	60,000	講師①30000円×2回
賃金(事業運営)	112,000	800円×20H×7ヶ月
賃金(当日実施)	32,000	800円×2H×4名×5回
旅費交通費	40,000	講師旅費15,000円×2回 広報、打合せ等10000円
チラシ作成	10,000	デザイン、印刷費
保育料	80,000	40000円×2回
保険料	30,000	イベント保険
小計 A	364,000	
消費税 B = A × 0.05	18,200	
合計 A + B	382,200	

◎実費弁償契約の希望の有無

 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
参加費(一組500円)	80,000	本セミナー実施
防災グッズ販売	30,000	本セミナー実施
自己負担	22,200	本セミナー実施

企画提案の概要書

提案団体名	特定非営利活動法人だっことおんぶの研究所
企画案のタイトル	我が子は自分で守る！地震防災セミナー
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内で ご記入ください。)	<p>東日本大震災はじめ過去の巨大地震では、災害時要援護者である「乳幼児」をもつ家庭は様々な困難に直面した。東海地震はじめ巨大地震の発生が切迫している静岡市において、乳幼児のいる家庭の防災対策は急務の課題である。乳幼児のいる家庭と地域で活動する人々に向けての防災セミナーならびにフォローアップセミナーを実施することにより、「自助」の観点での防災意識の向上、有事の際の地域避難所運営への情報活用、対策の実践を促す。また、弊 NPO のような子育て支援団体と市の各機関が本企画を通して連携をはかることで、有事の際に有効なネットワーク構築の第一歩へつなげる。</p> <p>防災セミナー 定員 50 組×2 回実施 フォローアップセミナー 定員 20 組×3 回実施</p>
金額	250,000 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。